

2014年 年頭所感 ～起業先進国への道程～

世界銀行 Doing Business 2014によると、日本の起業のしやすさランキングは世界120位だと言う。シンガポール3位、米国20位、韓国34位等と比較して、遥かに下位の起業後進国の地位に甘んじている。GEM調査においても総合起業活動率が5.4%と欧米諸国だけでなく、アジア各国と比べてもひどく見劣りする。

2013年はアベノミクス第3の矢を力強く射るための規制改革が漸く進み出した。規制改革に終りはない。

しかしながら、ここで強調しておきたいことは、規制改革は起業率を高める特効薬ではないし、必要十分条件には成り得ないと言うことである。

起業家は、言葉を変えると「人と違うことをやる人種」と定義できる。かかる人種が育つ環境を醸成するためには大多数の日本人が従来慣れ親しんだ「同質性」環境から「異質性」環境に身を置く覚悟あるいは自発性が求められる。

昨年打上げに成功した小型ロケット イプシロンの開発責任者である森田泰弘氏の全く新たな発想はどこから産まれたのか？

イプシロンの成功で大きく前進した再利用可能化、スペースシャトルでも成し遂げられなかったロケットの飛行機化は、森田氏が異質性の環境で発想出来たと言われている。日本人の起業家精神が決して低いわけではない。それを発揮する環境あるいは機会が少なく避けて来ただけである。

VC自ら、奇人、変人、異端児を積極的に評価していく覚悟が求められる。VCの本質はリスクを取る気概であり、リスクヘッジを計算することではない。

経済成長は新陳代謝の反復によってもたらされる。昨年は本番前の助走路で準備運動を終えた年であり、今年はいよいよメーントラックのスタートラインに立っている。

起業先進国に向かってスタートダッシュする年としたい。

会長 安達俊久

呉副会長：夢に向かって進むのがベンチャービジネスである。夢を追わないVC業界には発展はない。

尾崎副会長：日本型VCの投資スタイルを追求し日本の中堅中小企業のアジアにおける成長の支援を

市川専務理事：2012年度のVC投融資額は1,026億円とやや減少、アベノミクス効果によるロケット上昇を期待

安藤常務理事：フォローの風を捉えるにはVCも脱皮していくことが必要。恐れず変革に挑む年にしたい。

齋藤理事：アベノミクスの勢いをVC業界全体の活性化につなげるべき頑張っていきたいと思えます。

上田理事：チャレンジする起業家を応援し育てていくことこそが我々の使命

水谷理事：最近静岡でもベンチャーという言葉が聞かれるようになり、時代のうねりを感じています。

勝又理事：日本における事業イノベーションの発展、起業家の支援を皆さまとともに推進して参りたい

有馬理事：変化の激しい今こそ、皆様方と一緒にVC業界飛躍の年にして参りましょう。

鹿島理事：ベンチャービジネスが飛躍する好機、当社の持つチャンネルを最大限に提供していきます

田島理事：アジアのインターネットビジネスに最大のインパクトを与える産業の種を仕込みたい

赤浦理事：ベンチャー業界全体の更なる活性化に寄与すべく、引き続き邁進してまいります。

瀧口監事：日本の将来に不可欠であるイノベーションの誘発に、今年も邁進してまいります。

山崎監事：新たな日本を創造すべく、ベンチャーへの情熱と信念により、変化の実感・実現の年に

金融審議会「新規・成長企業へのリスクマネーの供給のあり方等に関するワーキング・グループ」

当協会の安達会長が委員となっていたワーキング・グループが、2013年12月20日に最終回を迎え、終了しました。

金融庁のWebサイトにおいて報告書が公表されています。

http://www.fsa.go.jp/singi/singi_kinyu/tosin/20131225-1.html

同ワーキング・グループにおいては、新規・成長企業に対するリスクマネー供給促進策として、主に以下のような事項について議論が重ねられました。

・クラウド・ファンディング

特に投資型クラウド・ファンディングに係る制度整備として、仲介業者の参入要件の緩和、投資家保護のための必要な措置、自主規制機関による適切な自主規制機能の整備

・非上場株式の取引・換金のための枠組み

グリーンシート銘柄制度を見直し、自主規制機関である日本証券業協会の自主規制規則に基づく制度として、第一種金融商品取引業者が投資勧誘を行える範囲を同取引業者が銘柄毎に組成・管理する「投資グループ」のメンバーに限定する新たな非上場株式の取引制度の整備。

・新規上場促進

新規上場に伴う負担の軽減（有価証券届出書に記載する財務諸表5年分⇒例えば2年分に）、及び新興市場の新規上場時における最低株主数基準の引き下げ、新規上場後（例えば3年間について）の内部統制報告書に係る監査の免除。

・保険子会社ベンチャーキャピタルによるベンチャー企業への投資促進

保険会社の議決権保有制限（いわゆる10%ルール）において、リードベンチャーキャピタルとして出資を行っている場合には、当該ベンチャー企業が中小企業の基準を超えた場合にも上場までの間に限り追加出資に応じることができるよう特例の要件を緩和。

上記のような同ワーキング・グループでの議論を元に、今後法改正、政令改正等適切な制度整備が進められていくこととなります。今後の動向を引き続き注視していきたいと思っております。

産業競争力強化法施行令が施行（2014年1月20日）

2014年1月20日、産業競争力強化法施行令が施行され、対象となるファンド（投資事業有限責任組合）の認定申請の受け付けが開始されました。

詳細な認定申請手続き等については下記URL（経済産業省のWebサイト）にてご確認ください。

http://www.meti.go.jp/policy/jigyousaisei/kyousouryoku_kyouka/

従前は存在しなかったベンチャー・中小企業投資促進のための、ファンドの出資者に対する税制優遇措置が今回実現したことは大きな1歩と言えます。本施行令施行に至るまでの間、業界の皆様には様々な形で多々ご協力頂きました。厚く御礼申し上げます。

「のれん」に関する会計基準見直しを政府が検討開始（2014年1月27日）

2014年1月27日の新聞報道によれば、買収時の「のれん」の償却について、非償却化すべく会計基準を見直す旨政府が検討を開始したとのこと。

いまや“日本独特”な会計基準となっている「のれん」の償却処理については、日本におけるM&Aが欧米に比較して取引件数が増加せず、かつ価格的にも高い価格が付きにくい要因の一つとして、昨今、かねてより数多くの関係団体や有識者から意見が出されていました。JVCAからも企業会計基準委員会に対し意見を提出しており、また日本ニュービジネス協議会連合会及び日本ベンチャー学会とともに作成した「三団体緊急提言」の中にも盛り込まれています。加えて既に会員の皆様にもご案内しております通り、富士通総研主任研究員の湯川抗氏より「我が国におけるベンチャー企業のM&A増加に向けた提言ーのれん代非償却化の重大なインパクト」と題したレポートにおいてもデータを基に論じられています。

ようやく声が届いた「のれんの非償却化」。実現に向け、今後の政府の検討に期待！です。

■「第6回中国・四国地区VCトップ懇談会」開催

2013年10月18日に第6回中国・四国地区VCトップ懇談会を中国、四国、九州地区のVCトップ、関係省庁の関係者などおよそ40名が出席し、リーガロイヤルホテル広島（広島市）にて開催しました。JVCA会員の皆様、関係各位の暖かいご協力に支えられながら、第6回開催を迎えることが出来ましたことを御礼申し上げます。

今回は、昨年ご出席いただいた株式会社ソアラサービス代表取締役社長牛来千鶴様から「～地方から発信する～創発的ビジネスの可能性」という演題でご講演いただきました。プレゼンテーションは、経済産業省産業資金課長 兼 新規産業室長 佐々木啓介様、株式会社ひろしまイノベーション推進機構 代表取締役社長 山下尊弘様、株式会社地域経済活性化支援機構 専務執行役員 川上尚貴様、REVICキャピタル株式会社 代表取締役社長 田中雅範様からいただきました。

2012年11月の第5回懇談会開催以降、政権交代という大きな動きがあり、アベノミクス「成長戦略」を背景とした規制改革、ベンチャー投資促進税制等をJVCAの活動報告の中で出席各位へお伝えしました。



地域VCからの情報発信、情報交換等の重要な機会として、今後も懇談会を継続してまいります。

■ Global Venture Capital Congress (GVCC)

世界のVC/PEの業界団体が集まって情報のシェアや議論を行う「Global Venture Capital Congress」が、香港にて11月8日、9日の2日間に渡って開催されました。※参加国/地域：アメリカ、カナダ、欧州（EVCA）、英国、イスラエル、インド、オーストラリア、中国、香港、日本、ニュージーランド、シンガポール、台湾、ブラジル、ラテンアメリカ（15カ国/地域）

”Cross Border Investing”が今回のCongressの大きなテーマで、GPの立場、LPの立場から各国での事例などを紹介しながら活発な議論が交わされた他、”業界団体”としての活動（規制等に対するロビー活動やリサーチ等）やオペレーション面についても各国が抱える課題やその課題解決のためのアドバイスなどがシェアされました。

我がJVCAからは安達会長、尾崎副会長＋事務局1名が参加しました。

なお、次回の開催は、2015年春頃、場所はブラジルです。



■「JVCA CVCフォーラム 2013」開催

2013年11月20日にJVCA主催、経済産業省後援、(株)NTTドコモ・ベンチャーズ協賛により、ドコモ・イノベーションビレッジ（東京都港区）に於いて「JVCA CVCフォーラム 2013」を開催しました。

※CVC：コーポレート・ベンチャー・キャピタル

2012年10月開催の「CVCフォーラム 2012」（JVCA協力）に引続き今回も招待者出席によるクローズド形式で、【CVC意識の総合啓蒙とネットワーク構築】をコンセプトとして開催したものです。

午後1時30分に開始されたフォーラムは、2つの基調講演、(株)NTTドコモ・ベンチャーズのプレゼンテーション、2つのパネルディスカッション、経産省プレゼンテーション、Networking Partyと盛りだくさんなプログラムで進行し、午後8時過ぎ大変熱気を孕んだ雰囲気の中で幕を閉じました。

出席者は、企業のCVC担当部署、CVC検討企業、VC（ベンチャーキャピタル）、経済産業省等の公的支援、TLO（技術移転機関）/産学連携など総勢110名に及びました。企業とVC、起業家とのマッチングを目的として、経済産業省、（公社）日本ニュービジネス協議会（JNB）等は、最近、関連イベント開催に力を入れています。

JVCAとしては今後も【CVC意識の総合啓蒙とネットワーク構築】をコンセプトとして掲げ、日本政府の成長戦略のもと関係機関、団体とも協力して、関連したフォーラム等を継続して開催していく考えです。



Invitation Only

JVCA CVCフォーラム2013

Innovation=VC + CVC/

2013年11月20日(水)

時間 13時30分～20時00分
参加費 3,000円(事前振込制)
定員 120名
会場 アークヒルズ「ドコモ・イノベーションビレッジ」
※会場は1-13-32 有明ビル6F3号 (アークヒルズ) 隣「専務役員」に近接し(25分以内)

12:45	受付開始	「CVCへの関心」に関する資料を配布し、下見の場
13:30～13:35	開会挨拶	日本ベンチャーキャピタル協会 代表 藤田 隆
13:35～13:45	基調講演	経産省 産業資金課長 兼 新規産業室長 佐々木 啓介
13:45～14:00	基調講演 I (English)	基調講演 藤田 隆
14:00～14:15	基調講演 II (English)	基調講演 佐々木 啓介
14:15～14:30	基調講演 III (English)	基調講演 藤田 隆
14:30～14:45	基調講演 IV (English)	基調講演 佐々木 啓介
14:45～15:05	基調講演 V (English)	基調講演 藤田 隆
15:05～15:20	基調講演 VI (English)	基調講演 佐々木 啓介
15:20～15:35	基調講演 VII (English)	基調講演 藤田 隆
15:35～15:50	基調講演 VIII (English)	基調講演 佐々木 啓介
15:50～16:00	基調講演 IX (English)	基調講演 藤田 隆
16:00～16:10	基調講演 X (English)	基調講演 佐々木 啓介
16:10～16:15	基調講演 XI (English)	基調講演 藤田 隆
16:15～16:30	基調講演 XII (English)	基調講演 佐々木 啓介
16:30～16:45	基調講演 XIII (English)	基調講演 藤田 隆
16:45～17:00	基調講演 XIV (English)	基調講演 佐々木 啓介
17:00～17:15	基調講演 XV (English)	基調講演 藤田 隆
17:15～17:30	基調講演 XVI (English)	基調講演 佐々木 啓介
17:30～17:45	基調講演 XVII (English)	基調講演 藤田 隆
17:45～18:00	基調講演 XVIII (English)	基調講演 佐々木 啓介
18:00～18:15	基調講演 XIX (English)	基調講演 藤田 隆
18:15～18:30	基調講演 XX (English)	基調講演 佐々木 啓介
18:30～18:45	基調講演 XXI (English)	基調講演 藤田 隆
18:45～19:00	基調講演 XXII (English)	基調講演 佐々木 啓介
19:00～19:15	基調講演 XXIII (English)	基調講演 藤田 隆
19:15～19:30	基調講演 XXIV (English)	基調講演 佐々木 啓介
19:30～19:45	基調講演 XXV (English)	基調講演 藤田 隆
19:45～20:00	基調講演 XXVI (English)	基調講演 佐々木 啓介

主催：一般社団法人日本ベンチャーキャピタル協会 (JVCA)
後援：経済産業省
協賛：株式会社NTTドコモ・ベンチャーズ
協力：BAIジャパン株式会社、Schneider Electric、TEL Venture Capital, Inc.

JVCAからのお知らせ

1. 2013年度トップ懇談会は2月に開催されます

2月に計5回開催予定のトップ懇談会では会員企業トップと理事各位との Face to Face での意見交換を中心としたプログラムを組んでおります

2. 第12回定時会員総会は2014年7月11日（金）に開催されます

第12回定時会員総会はKKRホテル東京にて開催いたします、詳細はあらためてご案内をさせていただきます

3. 会員の入会

12月10日付 個人会員 4名
 1月28日付 賛助会員 コニカミノルタ株式会社 アドバンストレイヤーカンパニー
 1月28日付 賛助会員 ホワイト&ケース法律事務所 ・ 個人会員 1名

※VC会員44社・CVC会員2社・賛助会員75社（名）・ベンチャーキャピタリスト会員7名 合計128社名
 （2014年1月末現在）

JVCA後援イベントご案内

今後開催予定のJVCA後援イベントは以下のとおりです。

- ・2/6（木） 仙台のタベ（ホテルニューオータニ東京）
- ・3/9（日） 「SENDAI for Startups 2014」（仙台市）
- ・3/17（月） 大阪イノベーションハブイベント（大阪市）
- ・3/25（月） 新事業創出支援シンポジウム

JVCA勉強会ご案内

今後開催予定のJVCA勉強会は以下のとおりです。ホームページの「セミナー・講演会」からお申込みください。

■2014年2月21日（金）16：00～18：00

① アグリビジネスの市場動向と展望

講師：野村アグリプランニング&アドバイザー（株）

主席研究員 佐藤 光泰様

② 6次産業化ファンドの概要と具体的な取り組み（仮題）

講師：(株)農林漁業成長産業支援機構様

投融资本部 栗原 史明様



皆様のご参加をお待ちしております！

～キャピタリストの独り言～

一昨年に上場した社長の講演会に出かけた。複数のVCが出資した会社だ。300人は入る会場は満席。司会の女性の声も上ずる

社長が力説する。「もう諦めようと思いながら訪問した501社目で初受注、それを機に事業が軌道に乗った、諦めないことが成功確率を上げる」と。

この日も社長は政治家レベルの熱弁。資金やコネが無くても信じる事を継続すれば成功に近づくと声を囁らした

司会者が「では質疑応答を」と言った。場内は静まり三日坊主にさえなれない私は小さくなった

更なる社長の進化を願う

（白蓮）

日本ベンチャーキャピタル協会 ニュースレター No.34

■発行日 平成26年1月31日

■発行 一般社団法人 日本ベンチャーキャピタル協会

■編集 JVCA企画部/事務局

〒169-0074 東京都新宿区北新宿2-21-1

新宿フロントタワー

TEL：03-5937-0300 FAX：03-5937-0301

E-mail：jimukyoku@jvca.jp URL：http://www.jvca.jp/

